

提出書類の記載上のお願い（病理学）

(1) 推薦書

別紙1を参考に、指定の様式を用いてA4用紙1枚程度に収まるように作成してください。

(2) 履歴書

別紙2を参考に、指定の様式を用いてA4で作成してください。

(3) 業績目録

別紙3を参考に、A4用紙で作成してください。

(4) 病理診断報告に関する実績表

本学部ホームページまたはJREC-INのホームページからダウンロードしたExcel表に、過去2年分（2022～2023年度）の病理診断報告に関する実績を記入してください。

表にはご自身で報告された症例数を記入してください。また、各項目の（ ）内には、指導医として報告された症例数を外数として記入願います。

(5) ～ (8) 選考資料

形式は任意です。A4用紙で記載してください。

- ① (5)研究の概要と抱負について2,000字以内で記載してください。
- ② (6)医学教育（医師養成を含む）の実績と抱負について2,000字以内で記載してください。
- ③ (7)病理診断の実績と抱負について2,000字以内で記載してください。
- ④ (8)これまでに公的機関又は財団等より受けた研究助成についての、研究テーマ、研究代表者名、自身の担当（代表者、分担研究者等）及び助成の種類、助成額と助成機関名を年代順に記載してください。民間等との共同研究の実績や特許があれば、その概要を記載してください。研究費の配分があればその額も記入してください。

なお、共同研究・受託研究等と、奨学寄附金は分けて記入願います。

(9) (10) 学術論文の別刷

原著論文のうち主要なもの10編及び学位論文の別刷（コピー可）を提出してください。

別刷には、業績目録の作成時に付けた通し番号を、表紙の右肩に記入してください。

- ① 主要原著論文10編は、別刷を各10部提出してください。
業績目録の各主要論文の通し番号の前に「○」を記入してください（別紙3参照）。
- ② 学位（博士）論文は、別刷を1部提出してください。
業績目録の学位論文の通し番号の前には「◎」を記入してください（別紙3参照）。
その学位論文を主要論文10編に含める場合は、業績目録には「○◎」と記入し、主要論文として別刷は10部提出してください。

その他

履歴書、業績目録、病理診断報告に関する実績表、選考資料については、テキストデータを読み取

ることができる MS Word 等の電子ファイルを USB メモリや CD-R 等の媒体に記録し、書類に同封して提出してください。

別紙1 (推薦書)

推薦書は、本学部ホームページまたは JREC-IN のホームページからダウンロードした様式の項目に沿って、文字サイズ 12 ポイント程度で作成してください。

推薦者は所属の学長または学部長 (大学以外にあっては所属機関の長)、教授をはじめ、それ以外の方でも差し支えありません。

推薦者の方によって厳封されたものを提出ください。

推 薦 書

記入例

(ふりがな) しまね ぼたん

氏 名 島根 ぼたん

生年月日 (XXXX 年 X 月 X 日生)

候補者の所属及び現職名

□□大学□□学部□□講座 准教授

推薦する講座 (診療科・施設) 名及び職名

病理学講座 教授

候補者の主たる研究分野

□□□□学

推薦理由

□□□□・・・

参考事項

XXXX 年 X 月 第□回□□学会□□受賞

XXXX 年 XX 月 XX 日 推薦者の職 氏名 (自署)

□□大学□□学部□□講座 教授

出雲 一郎 印

島根大学学術研究院医学・看護学系長

石原 俊治 殿

別紙2 (履歴書)

履歴書は、本学部ホームページまたは JREC-IN の HP からダウンロードした様式を用いて、下記の例を参考に文字サイズ 12 ポイント程度で作成してください。

枚数は任意としますので、経歴等は必要に応じて行を追加して記載願います。

履 歴 書

記入例

XXXX 年 XX 月 XX 日作成

(ふりがな) **しまね ぼたん**
氏 名 **島根 ぼたん** 旧氏名 () ★必要に応じて旧姓等記載
性 別 **女性**
生年月日 **XXXX 年 X 月 X 日** (年齢 XX 歳) ★履歴書作成日現在の満年齢

現 職 **□□大学□□学部□□講座 准教授**

現 住 所 **〒XXX-XXXX □□県□□市□□町 XXX 番地**
電話番号 **XXX-XXXX-XXXX**
メールアドレス **mga-jinji@office.shimane-u.ac.jp**

学 歴

XXXX 年 X 月 □□立□□高等学校卒業
XXXX 年 X 月 □□大学□□学部□□学科卒業
XXXX 年 X 月 □□大学大学院□□研究科□□専攻□□課程修了
★高校卒業以降の学歴を、年月の古い順に記載

学 位 **XXXX 年 X 月 博士 (医学)** 授与大学名 (**□□大学**)

免許資格 (認定医・専門医等)

XXXX 年 X 月 医師免許 (第 XXXX 号)
XXXX 年 X 月 □□□□認定医 (第 XXXX 号)
XXXX 年 X 月 □□□□専門医 (第 XXXX 号)
★医師免許など国家試験による免許・資格、学会認定専門医等の資格を、取得年月・登録番号とともに記載

職歴・研究歴

XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学医学部附属病院□□科研修医
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学大学院□□研究科□□専攻□□課程大学院生
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 米国□□大学□□病院□□科研究員

XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学医学部附属病院□□科助教
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□病院□□科医長
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学□□学部□□講座講師
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学□□学部□□講座准教授

★職歴（職名・所属）、研究歴（身分・所属）等を、採用～退職または始期～終期の年月の古い順に記載
★研究生・専攻生、外国出張（1ヶ月以上）・外国留学についても記載

所属学会、学会役員及び社会サービスに関する事項等

XXXX 年 X 月 □□□□学会員
XXXX 年 X 月 □□□□学会評議員

賞罰、研究助成等

XXXX 年 X 月 第 X 回□□□□学会学会長賞
XXXX 年 X 月 科学研究費補助金 若手研究 B
XXXX 年 X 月 □□大学教育功勞表彰

主たる研究分野

□□学、□□手術、□□□□医療、□□に対する□□の研究 ★簡潔に記載

論文数 XXX 編（欧文 XXX 編、邦文 XXX 編）
うち最近 5 年間の発表（欧文 XXX 編、邦文 XXX 編）
著書数 XXX 編（欧文 XXX 編、邦文 XXX 編）
うち最近 5 年間の発表（欧文 XXX 編、邦文 XXX 編）
学会発表数 XXX 回 国内学会 XX 回
（特別講演 X 回、教育講演 X 回、シンポジウム X 回）
国際学会 XX 回
うち最近 5 年間の発表
国内学会 XX 回
（特別講演 X 回、教育講演 X 回、シンポジウム X 回）
国際学会 XX 回

★発表論文数を欧文と邦文別に記載

★国内学会は回数の内訳が判断できるよう、（ ）内に特別講演・教育講演・シンポジウム等の回数を記載

上記のとおり相違ありません。

XXXX 年 XX 月 XX 日 候補者の氏名（自署）

島根 ぼたん 印

別紙3 (業績目録)

業績目録に指定の様式はありません。A4用紙に下記内容を記載してください。

記載内容

- (1) 「学術論文」「著書」「特別な学会発表」の順に記載してください。
- (2) 学術論文は「原著」「症例報告」「総説」「その他」に分類し、欧文論文・邦文論文ごとに古いものから年代順に記載し、それぞれ通し番号を付けてください。
原著は査読があるものに限り、それ以外はその他に分類してください。
- (3) 各論文の著者名のうち、候補者自身の氏名には下線を引いてください。
- (4) 各論文の末尾には【 】でIFを記入してください。IFは最新版を記載ください。
- (5) 著書は「欧文著書」「邦文著書」に分けて年代別に記載し、それぞれに通し番号を付けてください。
- (6) 学会発表は「国内学会（特別講演、教育講演、シンポジウム等、特別なもののみ記載）」及び「国際学会（一般演題を含む）」に分けて記載し、それぞれ通し番号を付けてください。
- (7) 文部科学省（文部省）、厚生労働省（厚生省）等の班会議報告は学術論文（その他）としてください。
- (8) 学会抄録は Proceedings 等に原著形式で掲載されたもの以外は記載不要です。この場合は学術論文（その他）としてください。

業績目録

記入例

学術論文

欧文原著

- ◎◎1. Dimatteo MR, Shimane B, Friedman HS: *Helicobacter pylori* infection and the risk of gastric carcinoma. Lancet 340: 1359-1362, 2006 【IF 79.321】
2. Shimane B, Izumo I Protection of cerebral microvasculature after moderate hypothermia following experimental focal cerebral ischemia in mice. Brain Pathol 17: 174-183, 2007 【IF 6.508】
- 3. ***** 【IF *****】

邦文原著

1. 島根ぼたん、出雲一郎：甲状腺機能亢進症によるてんかん発作
日内会誌 125: 123-125, 2008.
2. *****

欧文症例報告

1. *****

邦文症例報告

1. *****

欧文総説

1. *****

邦文総説

1. *****

その他

1. *****

★頁を改める

著 書

欧文

1. Shimane B: Undergraduate and postgraduate rural training. In: Rural Medicine, William JW ed., McGraw-Hill Inc, New York, pp. 15-30, 2007
2. *****

邦文

1. 山田太郎, 島根ぼたん: 地域医療と医学教育, 地域医療. 出雲一郎編, 島根書院, 東京, pp. 65-75, 2007
2. *****

★頁を改める

特別な学会発表

国内学会 (特別なもの)

島根ぼたん, 出雲一郎: *Helicobacter pylori* と粘液組成.
シンポジウム「*Helicobacter pylori* と胃炎」, 第70回日本〇〇学会総会, 2008

国際学会

Shimane B, Izumo I: Apoptotic neuronal death in ischemia-reperfusion injury of the brain. The 20th International Congress of Neuropathology, Paris, 2008